

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 265

所管部局	福祉部	所管課	子育て支援課	担当者名	高橋 伸夫
事業名	次世代育成支援対策事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	次世代育成支援対策事業			政策体系	116
会計	一般会計	科目	3.民生 - 2.児童 - 1.児童		

1. 事業の概要

「南丹市次世代育成支援行動計画」の評価見直しと就学前教育のあり方を検討する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

南丹市における子育て対策の基本となる行動計画の策

②事業を実施する必要性

次世代育成支援対策推進法に基づき少子化対策に取り組む指針が示されており、それを基に地域性を踏まえて次世代育成支援行動計画を策定する。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	2,772	0	0	4,048	155	243	243
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,772	0	0	4,048	155	243	243
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.10	0.40			
人件費		千円	—	—	857	2,721			
事業費総額		千円	—	—	857	6,770			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

次世代育成支援行動計画策定委員会	268,100円
次世代育成支援行動計画策定業務委託	3,780,000円

5. 事業結果の概要

次世代育成支援後期行動計画の策定委員会の5回開催
 就学前児童のいる世帯・保護者へのアンケート調査回収率67.4%
 小学生児童のいる世帯・保護者へのアンケート調査回収率76.8%
 企業ヒアリング68事業所及び子育て支援団体、市役所関係課のヒアリングの実施等を通じて、住民ニーズを把握し南丹市次世代育成支援後期行動計画の策定を行った。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 次世代育成支援後期行動計画の策定		
南丹市次世代育成支援行動計画（前期計画）の検証と、次世代育成支援後期行動計画の策定を21年度に実施することとした。	年間	次世代育成支援後期行動計画の策定委員会の5回開催 就学前児童のいる世帯・保護者へのアンケート調査回収率67.4% 小学生児童のいる世帯・保護者へのアンケート調査回収率76.8% 企業ヒアリング68事業所及び子育て支援団体、市役所関係課のヒアリングの実施

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

子育て家庭を取り巻く環境は社会状況の変動とともに、地域の希薄化、子育て力の低下などの影響が懸念されている。また女性の社会進出が増加する中で、仕事と家庭の調和実現のための支援が求められている。そんな中で、親子が安心して安全に暮らせるまちづくりを目指し、南丹市子育て条例に基づく各種事業の展開とあわせて、子育て支援施策に関する具体的で総合的に推進していく計画として、後期行動計画を策定した。今後は、総合振興計画の推進を基に、次世代育成支援行動計画に即した支援策を展開していく。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
21年度における後期計画の策定に向けての取組みと併せて協議をした。
- ②当該事業のアピール事項
南丹市における子育て支援策定の基本となる計画であり、関係部署との緊密な連携が必要となる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
21年度の後期計画策定に向けて、検討を進める。